

平成29年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告  
鞍手町多職種連携協議会 専門職向け研修会

【開催日時】平成29年8月10日(木) 14:00~15:30

【開催場所】鞍手町総合福祉センターくらの郷(鞍手郡鞍手町大字新延414-1)

【内 容】講義「認知症高齢者の対応・コミュニケーションについて」

講師：福岡県認知症医療センター直方中村病院 精神保健福祉士 葉室

【主 催】鞍手町地域包括支援センター・鞍手町多職種連携協議会

昨年度も、本協議会の研修講師としてお伺い致しました。今回は昨年度からの引く続きの面もありますが、「認知症高齢者の対応・コミュニケーションについて」をテーマに話をさせていただきました。

ところで、昨年度の報告と重複しますが、鞍手町には病院・在宅介護支援センター・特別養護老人ホーム・直方歯科医師会・地域包括支援センターを中心とした鞍手町多職種連携協議が発足しております。今回の参加事業所は特別養護老人ホームの職員の方は欠席されておりましたが、前述の事業所以外に、介護保険の通所サービス事業所・グループホーム・住宅型有料老人ホーム・居宅介護支援事業所となっております。当日の参加者数は32名でした。

今回の内容は次の通りです。

- ・認知症を疑った場合、まずはかかりつけ医に相談を
- ・認知症ケアに客観的、医学的視点を
- ・認知症高齢者に接する上で大切にしていきたいこと

「認知症を疑った場合、まずはかかりつけ医に相談を」では、認知症の確定診断のフローチャートを用い認知症様の症状=専門医の受診ではなく、かかりつけ医がおられる場合、まずは相談していただくことを説明しました。次に、介護に携われる専門職の方々が普段から出来る観察の重要性について、話をさせていただきました。

そして、さいごに、平成27年度・28年度と他施設で実施しましたテーマ「認知症と接遇」を用い、講義とロールプレイを行いました。ロールプレイは参加された方々にとっては、講義ばかりよりも時には良いのではないかと考え、取り入れました。アンケートをとっておりませんので、参加者の感想は判りませんが、講師としては手応えを感じました。

今後は、事例検討や今回の様なロールプレイを取り入れることで、益々の研鑽につながるのではないかと考えております。

さいごに、開催にあたりご尽力いただきました関係者の方々に、お礼申し上げます。また、ご参加いただいた方々も業務の時間を調整していただきまして、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

(葉室)